

海域ワーキンググループの経過報告・今後の予定

1 開催状況

令和3年(2021年)7月26日(月)第1回ワーキンググループ開催(オンライン会議)

令和4年(2022年)3月1日(火)第2回ワーキンググループ開催(オンライン会議)

〈第2回海域ワーキンググループの主な内容〉

◇ 令和2年度(2020年度)長期モニタリング項目評価調書(案)及び資料集(案)について
海域ワーキンググループが担当するモニタリングごとの評価について、最新のデータに基づく評価を行い、前回までに取りまとめた内容について、必要な見直しを行った。

◇ 長期モニタリング計画に係る評価項目の評価シートについて

第1期長期モニタリング計画の計画期間全体の総括評価を記載した「評価シート」について、海域ワーキンググループ担当項目に係る確認を行い、モニタリング項目④【スケトウダラの資源状態の把握と評価(TAC設定に係る調査)】を再評価の上、修正することとした。
(根室海峡海域での資源量減少を考慮した下方修正を行う。)

◇ 令和2年度(2020年度)海域管理計画定期報告書について

第3期海域管理計画の推進状況について情報の公開と共有化を図るため、海域ワーキンググループにおけるモニタリング結果や評価をまとめた定期報告書について検討を行った。
定期報告書は完成次第、道ホームページ等で公開する。

◇ 次期長期モニタリング計画に係る評価項目について

次期長期モニタリング計画におけるモニタリング項目や評価の方法について、必要な見直しに係る検討を行い、別紙のとおり取りまとめたので報告する。

■モニタリング項目の除外

【リモートセンシングによる水温・クロロフィルaの観測】

【アイスアルジーの生物学的調査】

■モニタリング項目の統合

【トドの日本沿岸への来遊頭数の調査、人為的死亡個体の性別、特性】については、

【アザラシの生息状況の調査】と統合し、【アザラシ・トドの生息状況の調査】とする。

■モニタリング項目の修正

【トドの被害実態調査】を【アザラシ・トドの被害実態調査】とする。

■モニタリング手法等の変更

【 海洋観測ブイによる水温の定点観測 】について、その他既存データの活用について追記を行うよう検討する。

【 アザラシ・トドの生息状況の調査 】について、アザラシのモニタリング手法、評価指標及び評価基準の見直しを検討する。

■評価基準の設定

【 シャチの生息状況の調査 】について、評価基準を設定する。

■評価項目との紐付け

評価項目Ⅳ「遺産地域における気候変動の兆候はみられるか」に次の項目を紐付ける。

【 海域の生物相、及び、生息状況（浅海域定期調査）】

【 浅海域における貝類定量調査 】

評価項目Ⅴ「知床の世界自然遺産としての価値に対する気候変動の影響もしくは影響の予兆はみられるか」に次の項目を紐付ける、

【 「北海道水産現勢」からの漁獲量変動の把握 】

2 今後の予定

- 令和4年7月頃 令和4年度（2022年度）第1回会合の開催（札幌市内）
 - 第4期海域管理計画の作成
 - 令和2年度（2020年度）海域管理計画定期報告書の作成
 - 第44回世界遺産委員会決議に係る保全状況報告（案）